

「見えないチカラ」

片理誠

悪いな、つき合ってもらっちゃって。

え？ あ、いや、大丈夫、大丈夫。男だつてたまには羽を伸ばさなきゃ。家にはカミさんがいるから、平気だよ。

そりゃ、赤ん坊つてのは何をやらかすか分からないけどさ。特に最近、うちのは這い這いを覚えたんでね。片時も目を離せないつてのはある。けど、そう四六時中じゃこつちも保たないよ。育児ノイローゼつて奴？ ああ。あれになつちまう世のお母さんがたの気持ちも分からないではないね。実際、大変だよ、子供の面倒を見るつてのはさ。ま、独身のお前に言つてもピンとこないかもしれないけど。

とにかく、こうして久しぶりに会えたのは俺にとつては僥倖だ。ちようど外で一杯やりたいたいと思つてたところなんだよ。ちゃんと奢るからさ。ちよつとの間、つきあつてくれ。

ん？ いや、用事つたつて、ただの買い物さ。ちようど家に帰るところだったんだ。女房のお使いでね。急ぐような話じゃない。ま、顎でこき使われてるつてわけ。母は強

しつて奴でさ、女つてのは変わるよ。度胸がつくと言うか。おかげで今じゃ下僕同然の身分だよ。

フフ、そうか？ そう見えるかな。けど実際は、イクメン、なんておだてられて、調子に乗せられてるだけだよ。まあ、確かに楽しいけどさ。子供つてのは本当に可愛いぜえ。あの愛くるしさは理屈じゃないね。

これで女房の額から角が生えてなけりや、言うことはなかつたんだがなあ。いや、最初は生えてなかつたんだぜ？ つき合つてた頃は、そりやあもう、控え目な、いじらしい子だつたんだつて。母親になつた途端に変わつちやつたんだよ。

そういや以前、新聞の記事で読んだことがあるな。マウスのお母さんは、実は超音波やフェロモンを出しているんだとさ。で、それを感じるとお父さんマウスは子育てをするんだそうさ。だからお母さんマウスを隔離すると、お父さんマウスは子育てをしなくなつてしまう傾向がある、つていう話だつたな、確か。

つまり雌のマウスは母親になると、見えない力を使って父親マウスを操ることができるようになる、ということなんだよ！ 凄い超能力だよなあ！ まさに、母は強し、だ。

え？ ま、確かにそう思つちゃうよな。マウスの雌にできるんなら、人間の女性にだつて、つてね。

けど、俺たち人間の男は、マウスの雄なんかとは全然違うぜ？ 霊長類の男子を齧歯類の雄なんぞと一緒にすんなつーの！ フハハ！ 女房なんかに見えない力で操られてたまるかってんだよ、なあ？ そんな、ラジコンじゃあるまいし、なあ？ あーっはっは！ 人間万歳！ だあーはっはっは！

(ピ。ピ。ピ。ピッ！)

あはは！ 見えない力がナンボのもんだつーの！ そんなもん、恐かねえぜ！ なあおい！ あっはっは！ だーっはっは……は、あれ？ あ、ご免、俺の携帯電話だった。ちよつと失礼。

(ピ！)

あー、もしもし？ はいはい、え？ ああ、いやー実はさ、学生の頃のダチとばったり会っちゃってさー、で、今は居酒屋で旧交を暖めている最中という……へ？ いやいや、そういうことじゃないですよ、でも、ほら、友だちづきあいつていうのもさ、大切な……いやいや、違うってば、もちろん分かってますよ、でもね、あのね、たまにはこういう……ええ、それはもう重々、ただ……あの……うん、まあ、ね……それはそう、なんだけども……うん、そうね、そうね……うん……それはもちろん、もちろんですよ……ええ……うん、うん……うん……は、い。

(ピ！)

ああ、ご免。電波の向こうで、何か、カミさんが怒っちゃっててさ。うん。ご機嫌が斜めを通り越して、ほぼ垂直になっちゃってんだわ。うん。速攻で帰ってこいって怒鳴ってんのよ、電話の向こうで。うん。あの、誘っというて悪いんだけど……俺、帰る、わ。うん。

ご免ね、ホント、ご免ねー！